



こんにちは

村田けい子 です

2017
6.23
No.107

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

6.23沖縄デー 沖縄に連帯するスタンディングアピール

5:30~6:00 ツルヤ前交差点 「戦争する国」許さないアピールを

「共謀罪」廃止、戦争法廃止、特定秘密法廃止と国政に私物化許すな、安倍政権の即時退陣を求めてアピールしましょう。共謀罪が本格実施されれば、民主主義の窒息を招きます。

6.17-18 女神湖杯駅伝大会・ビーナスマラソン大会盛大に開かれる。高原にさわやかな若人のエネルギーほとばし

る17日土曜日は、駅伝大会。4人一組で一人2kmずつ女神湖周辺を走る。駅伝競走が始まる前には、野尻あずささんによる入念なストレッチが。私たちも参加してストレッチ。高原のさわやかな空気の中での運動は爽快です。立科町からも陸上クラブが「立科」のゼッケンをつけて走ったり、N事業所が3チームもエントリーし、社長さんもいっしょに応援する光景が。中には、男の子4人のご家庭で、ご夫婦と上のお兄ちゃん二人が走り、終わった後、みんなで健闘をたたえあっていました。

表彰式の最後に、くじ引きがあり、お米2kg、リンゴジュース・烏龍白龍など様々な立科の物産がお土産に当たりました。特賞はリンゴの木のオーナー。田中副議長がくじを引くと、富岡市の職員のみなさんのグループが当たりました。1本の木から相当のリンゴが獲れるので、リンゴの収穫に来がてら、また立科町を訪れていただきたいと思います。野尻あずささんともお話ししました。楽しく走りたいと実業団に所属せず、スポーツのアドバイザーのような仕事をしながらオリンピックを目指しているとのこと。夢を持った若者がここにもいました。立科町が大好きでよくおとずれるとのこと。さわやかな姿にファンになりました。



柔軟体操をする野尻あずさ選手



一斉にスタート



18日は9時半ころまで霧の中



「夢科山」「烏龍白龍」、リンゴジュース、人参ジュース、2kg入りコシヒカリバックなど美味しい食材がたくさんありました。

翌朝はビーナスマラソン。朝9時ころはまだ霧の中の女神湖畔。どうなることやらと思っていると、ハーフマラソンが始まるころには霧も晴れました。私もボランティアで選手の控室あたりに立ちました。「更衣室はどこ?」「荷物はどこに預けたらいいですか?」など次々と声がかかります。また泣いている子供には飴を上げて、手持無沙汰そうなお客さんには話しかけて、親睦に一役買いました。ハーフマラソンだけで622人、全体で1,000人近いランナーが白樺高原を駆け巡りました。

標高1500mのマラソンコースは空気も薄く厳しいコース。でも貴重なコースと言います。これからの山の在り方を考えさせられます。



みなさん走り抜きましたね



の幸せの四つ葉のクローバー

今週のパチリ

我が家の玄関わきのクローバーの繁みには、幸せがイッパイ!なんと四つ葉のクローバーがたくさん見つかるのです。

今朝、何気なく見ていたら、なんと四つ葉だけではなく、五つ葉のクローバーを発見!しかも四つ葉のクローバーと並んであるのです。これって奇跡としか言いようがありませんね。奇跡的なビックリすることが待ち構えていたりして。



蓼科写真クラブ写真展 開かれる

ふるさと交流館芦田宿を会場に、写真クラブの写真展が開かれています。22(木)～25(日)まで。

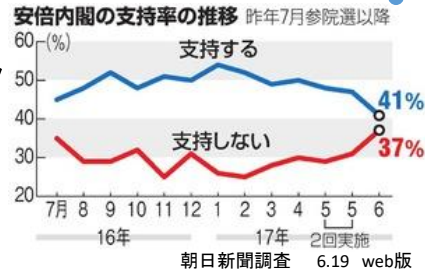


早速訪れ、拝見いたしました。11人が34点の作品を発表しています。どの作品も、それぞれ個性にあふれお人柄が偲ばれるもので、中にはとても哲学的と思わせるものがありました。

また、課題作品のテーマは「人を感じる光景・風景」というもので、なかなか考えさせられるものがありました。私も写真が好きなので、こういう切り取り方もあるのかと、とても勉強になりました。

ぶらりSHINDEN まち歩きイベントに出展されたわら細工の「真田丸」も写真で紹介され、それを見た住民の方が、しきりと感心しておられました。写真の力を感じます。

今の政治は「お友達政治」国政の私物化は許せませんね。



【6月議会への報告より】



★後期高齢者医療制度の保険料の算定ミス 立科町でも3件

国の厚生労働省保健局高齢者医療課から通知があり、制度発足後の平成20年より、一部の被保険者の保険料均等割り部分の軽減判定が謝って行われていたため、本来の保険料と異なる保険料が付加されていたことが明らかとなりました。

長野県では66市町村 879件
 還付 660件 約1305万円
 追加徴収 219件 約417万円

立科町では追加徴収が3件で 36,700円となり、これまでの5割軽減から2割軽減になり、保険料が増えることとなりました。

すでに4月17日に担当者が説明に行き、納付されたということです。

★小学校低学年棟トイレ改修工事見送りに

今年度、小学校の低学年棟のトイレの一部を和式から洋式に取り換える計画でしたが、5月に県教委より、町の要望が不採択となった旨の報告があったとのことです。

町の計画では、
 1年生で男女共用トイレ 大便器7 のうち2器
 2年生 大 8 のうち2器
 を洋式に変更する予定でした。

【赤旗電子版より6月22日付け】

日本共産党の堀内照文議員は9日の衆院厚生労働委員会で、厚労省のシステムの誤りで後期高齢者医療制度の保険料を過大・過少に徴収していた問題で、「被保険者の不利益にならないような対応を徹底すべきだ」と求めました。

同システムの設計ミスで一部の被保険者の判定が制度発足以来間違っていたにもかかわらず、厚労省は発覚後も公表せず個別対応で済ませていました。過大徴収されていた人には速やかに還付し、過少徴収の場合は説明の上で不足保険料の納入を求める方針です。

堀内氏は神戸市で被保険者に届いた追加納付書を示し「今後1年間での納付を求め、期限内に納めないと保険証をとりあげ短期保険証へと切り替えるというものだ」と指摘。当年分と合わせて合計3年分の支払いを求め、9割減免から全額自己負担になった人では30倍もの負担増になると指摘。「本人には何の責任もないのに重い負担を課して、短期証や延滞金といったペナルティーまで科すなどあってはならない」と迫りました。

- ・工事費は468.5万円
- ・財源として国の補助金 156.1万円(補助率 1/3)
町の自主財源 312.4万円

今や家庭でも様式が一般的になっているため、低学年の子は洋式に並んで用を足しているという状況が出されました。「1日も早く」整備すべきと、議員から要望が上がりました。